

## 第 27 回日本福祉のまちづくり学会全国大会に参加して

杉田 真

北海道科学大学 未来デザイン学部 人間社会学科 2 年

### 1. はじめに

8月30日から9月1日にかけて、北海道札幌市の北海道科学大学で開催された「日本福祉のまちづくり学会第27回全国大会」にボランティアとして参加しました。今大会では、エクスカッションにおける参加者のサポートや、セッションのタイムキーパーを担当しました。

1日目はエクスカッションが行われ、札幌市の中心部を巡りながら、市街地のユニバーサルデザインに触れる機会がありました。2日目は研究発表会や討論会、交流会に加え、市民参加型のイベントも開催され、多くの人で賑わい、3日目は2日目に続いて研究発表会が行われました。「第27回全国大会」は167名が参加し93編の論文発表が行われ、無事に閉幕しました。

### 2. エクスカッション

札幌市民の憩いの場である円山界隈を巡るAコース、再開発が進み賑わいが増す狸小路商店街など札幌市の中心を巡るBコースの2コースに分かれエクスカッションを実施しました。私は両コースで参加者のサポートを担当しました。そのうち特に印象的だった、Aコースについての様子を述べようと思います。

今回のエクスカッションの参加者の中には車いすを利用されている参加者もあり札幌市内のユニバーサルデザインについて深く考える良い機会となりました。

Aコースでは、円山公園やその隣の国指定天然記念物である円山原始林内を通り、札幌最古のスキージャンプ台がある荒井山に寄り道したのち、

1972年札幌オリンピックの会場の一つで観光名所である大倉山ジャンプ競技場を目指しました。

円山原始林内では遊歩道が整備され車いすを利用されている方でも比較的スムーズに移動することができました。円山原始林を含む円山周辺は市民の憩いの場であるとともに札幌市を代表する観光地です。このように様々な方たちが札幌の自然を味わっているのを見て、ユニバーサルデザインの大切さを実感しました。

荒井山では、山頂からの景色を眺めるためプチ登山を行いました。ここで車いすを利用されている参加者の方たちをサポートするために、牽引式車椅子補助装置「ZINRIKI」を車いすに装着し登山を開始しました。この装置は車いす利用者を中心に前後でサポートする人に分かれて移動を補助するというものです。この装置を利用することで、車いす利用者もサポートする人も一体となって登山することができ皆楽しそうでした。

大倉山ジャンプ競技場では、昼食休憩で道産食材を使用したお弁当に舌鼓を打ちその後、リフトで展望台に上がり札幌の景色を一望しました。

### 3. 終わりに

私は大学で地域社会やメディアデザインを学んでおり、これまで福祉に関することに触れる機会がありませんでした。今回、このような大会に参加し大会参加者の方々と行動できたことで、ユニバーサルデザインについて興味を持ちました。

最後に、今大会の運営ボランティアに携わる機会を設けてくださった一般社団法人日本福祉のまちづくり学会の皆様へ感謝申し上げます。また、この大会が開催されることをお知らせくださった北海道科学大学未来デザイン学部人間社会学科の道尾淳子先生にも、心よりお礼申し上げます。

北海道科学大学 未来デザイン学部 人間社会学科  
〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15-4-1